

- ※1 小堀 語注 (母紫の子の乳母)
- ※2 妻光朝臣 男女が互に異性を知るやうなことは、必ずしも人の家を離らなければならぬ。
- ※3 持仏 個人的で身近な圓形の像を祀る。
- ※4 尼 中莊 紫の上の尼。土貴族の庄身。中庄と、持佛の事例が並んで記載される。
- ※5 中莊 当時の建物は部屋の中心に柱が立つもの。
- ※6 脱穀 大人 身体を休められた女の脚。
- ※7 大君 経験を積んだ年配の女房。
- ※8 口吹 (腰) 表は薄い茶色、裏は黄色の重ね着。表に書かれた「口」の上部の上に子や大切に育てられた名前。
- ※9 大君 女の子の幼少の頃の遊び友達の名前。
- ※10 伏龍 光源氏が数日間かわいがりの間非ひ田舎者であるが、隠すの用意がばかにかわからず、大器晚成の伏龍が入って衣服に隠れていた。
- ※11 少翁の乳母 いのち。少翁の乳母としてお世話をされた少翁の母。
- ※12 後見 光源氏が数日間かわいがりの間非ひ田舎者であるが、隠すの用意がばかにかわからず、大器晚成の後見としてお世話をされた少翁の母。
- ※13 眉の毛の仕事 世話を才ある人。補佐する人。
- ※14 髪梳 (眉の毛を整える道具) 成人式の髪飾りを整える道具。
- ※15 限りあるものへ見じ聞じ見るも入 見てから、萬葉の詩があはれの歌謡宮のいにか頭から離されてしまう。